

RESAS 地域経済分析システムを活用した

瀬戸内市商工会管内経済動向分析報告書（要約版）

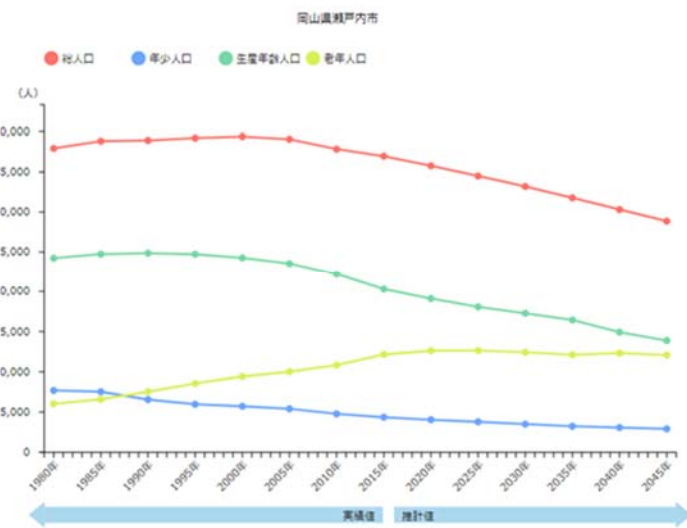
この度、瀬戸内市商工会では、経営発達支援事業の一環として瀬戸内市の地域経済を以下の項目ごとに分析を行い、管内の中小企業・小規模事業者の方が今後、地域内で経済活動を行っていく上での経営判断に役に立つ資料を作成しました。皆様方の経営が持続的に発展していくように当商工会はこれからも様々な経営支援を行って参ります。この報告書の詳しい内容は、当商工会のホームページ（URL:https://www.setouchi.org/）に掲載していますのでご覧ください。

なお、この報告書のデータは主に国の調査によるデータでその関係上 2015・2016 年が最新版となっています。予めご了承ください。

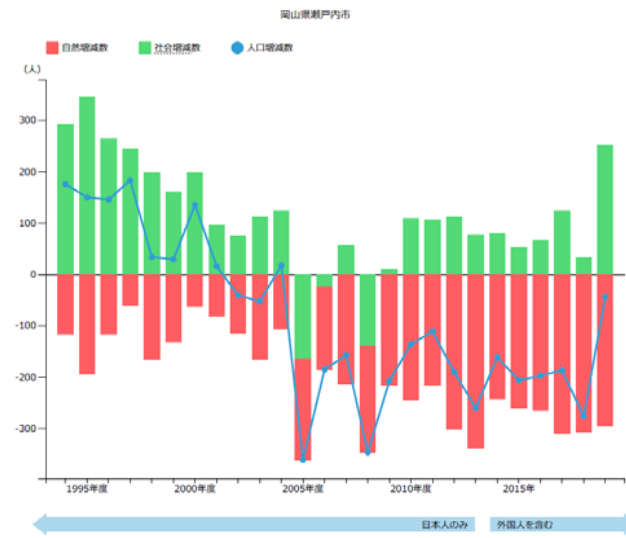
1. 地域の人口動態

人口は緩やかに減少する見込みです。2010 年以降は一貫して社会増の状況であり、過去も同様の傾向が強いことから、転入が多い特徴があります。特に 30 歳以降は転入傾向が顕著であり、生活する場所としての人気が高いことが推察されます。

■人口推移・推計

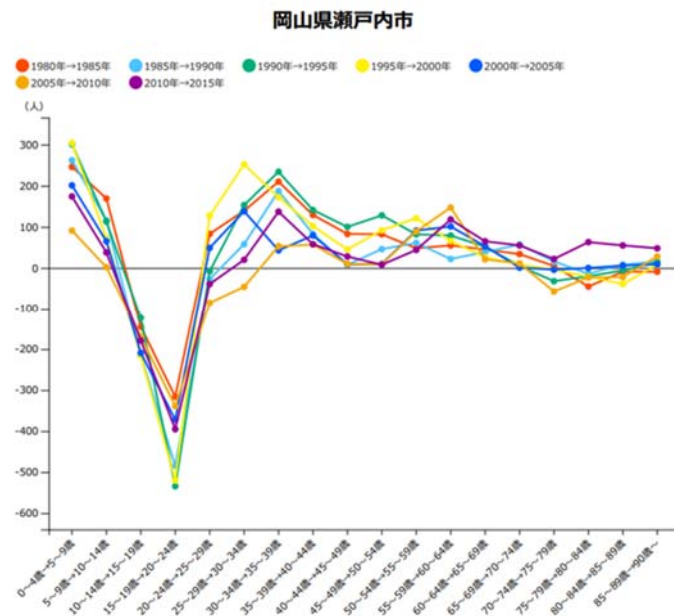


■人口動態・増減



左図【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
右図【出典】都道府県：厚生労働省「人口動態調査」、総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」

■年代別人口増減



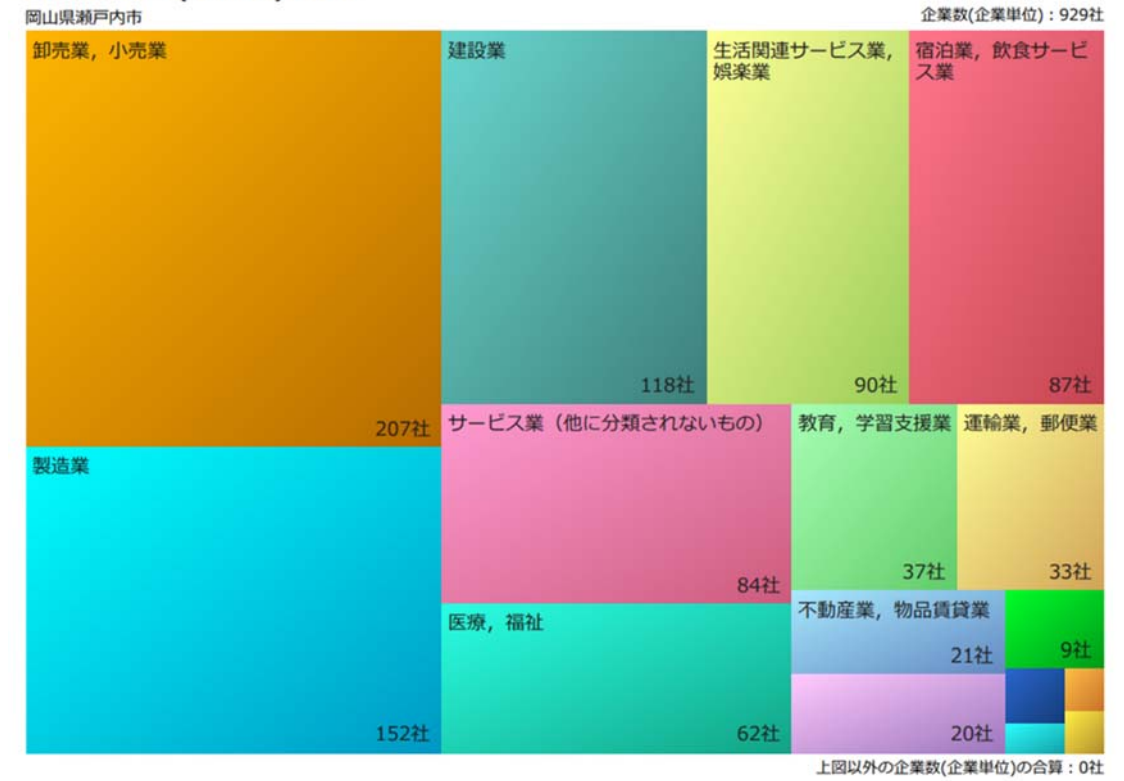
【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

2. 地域の経済動向

企業数では卸売業・小売業、製造業、建設業が多いことは他の地域と変わりはありませんが、特徴的な産業構造は雇用や売上・付加価値に占める製造業の存在感の圧倒的な高さです。労働生産性においても同様です。

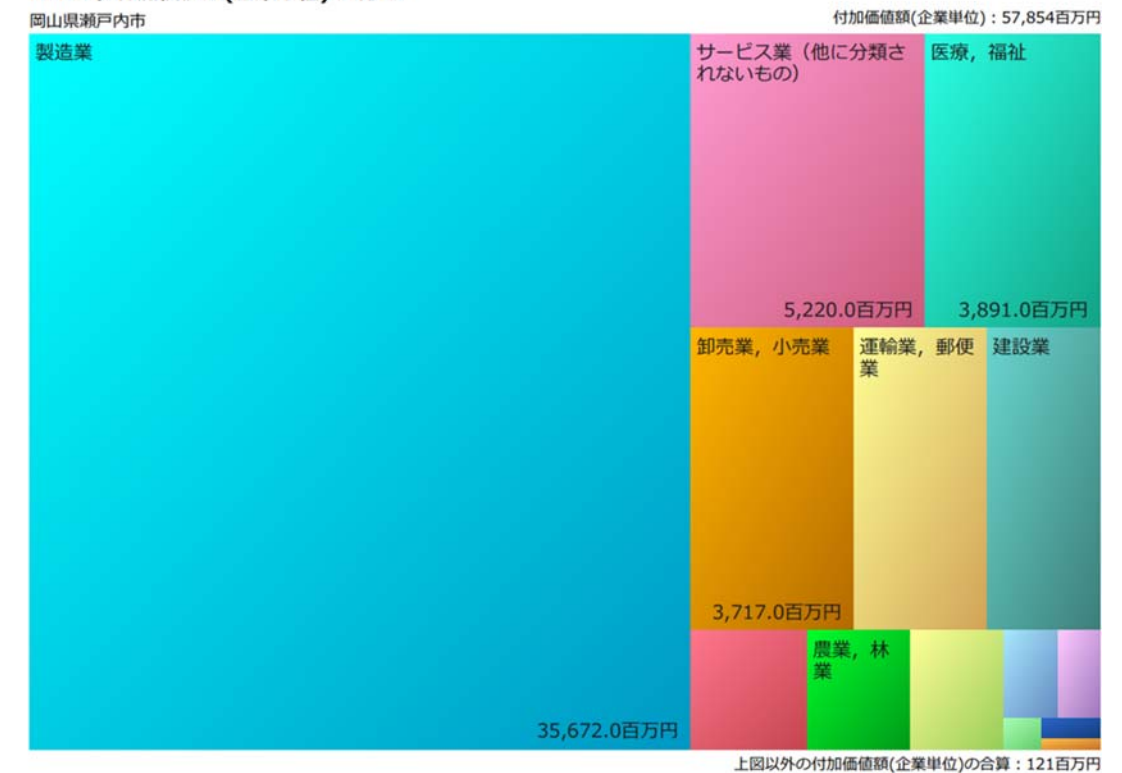
■企業数

2016年 企業数(企業単位) 大分類



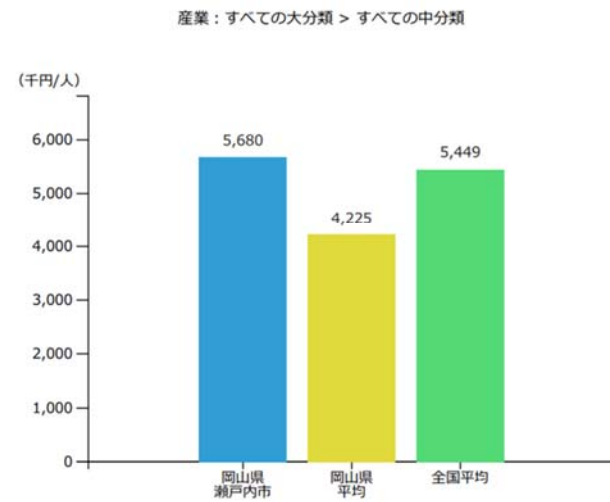
■付加価値額

2016年 付加価値額(企業単位) 大分類

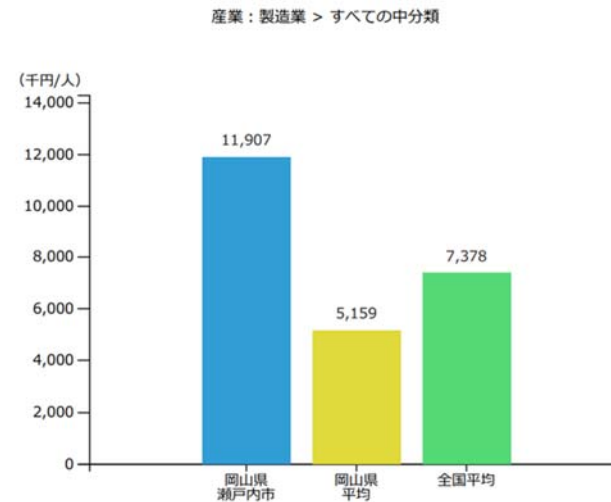


■労働生産性（国・県平均との比較）

労働生産性（企業単位） 2016年



労働生産性（企業単位） 2016年

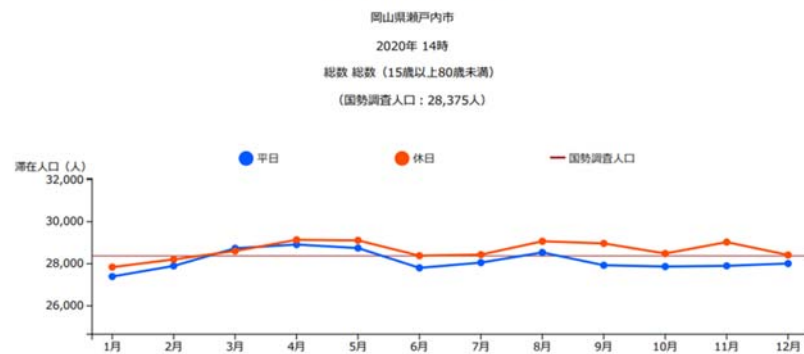


【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

3. 地域の人流動向

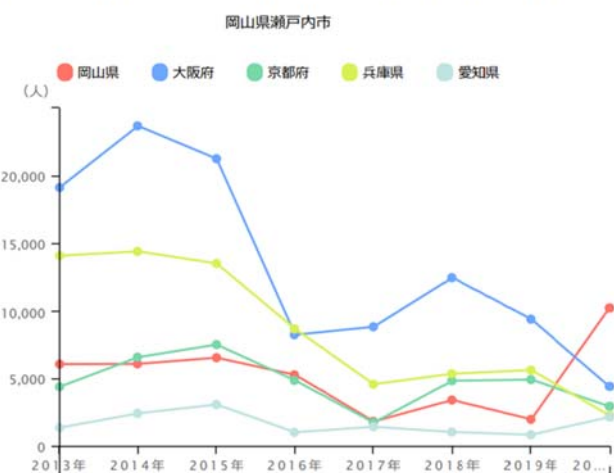
年間を通じて大きな人口移動はなく、安定した商圏人口を有しています。宿泊客数はコロナ禍前から大きく減少しています。

滞在人口の月別推移



【出典】株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」総務省「平成27年国勢調査」

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の推移

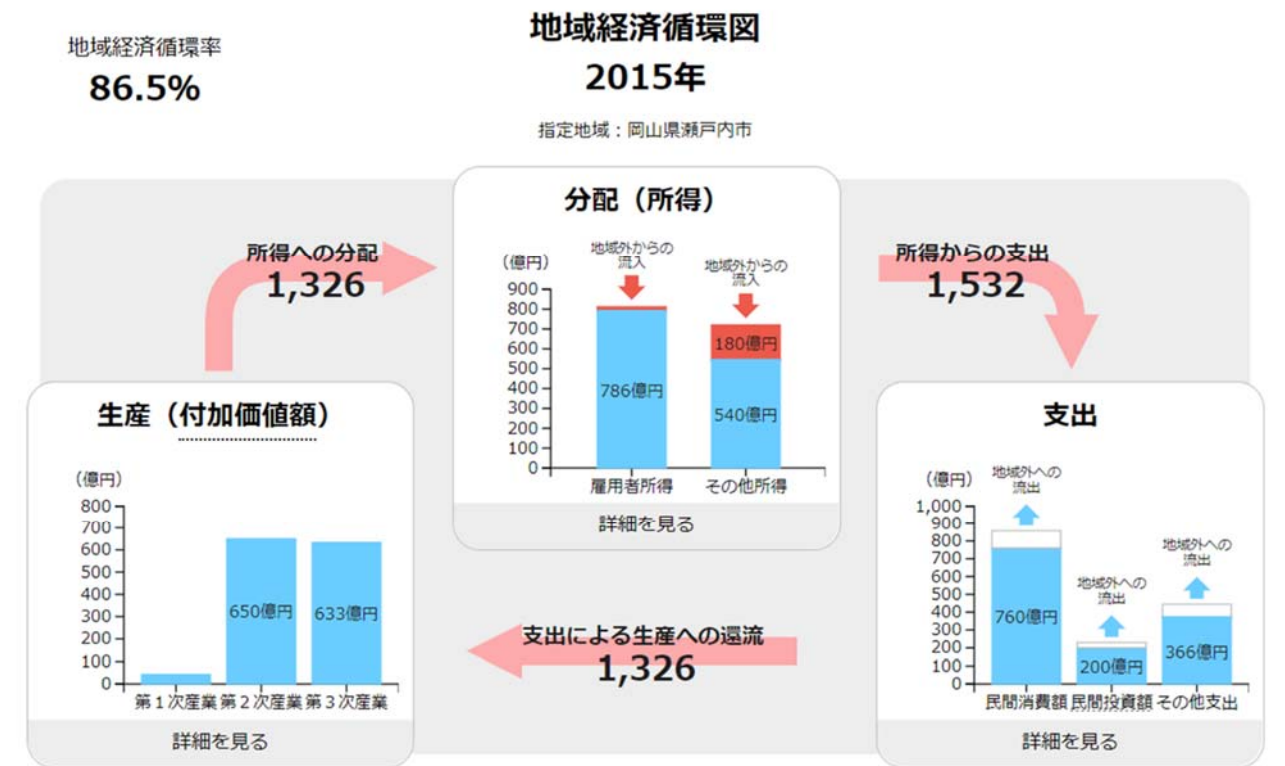


【出典】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」

4. 瀬戸内市商工会管内の経済的特徴

瀬戸内市は中長期的な人口減少が予測されるものの、その減少幅は限定的であり、人口の社会増の状況にある総じて安定した人口規模を有しています。このことから生活しやすく、住みやすい街であるといえます。

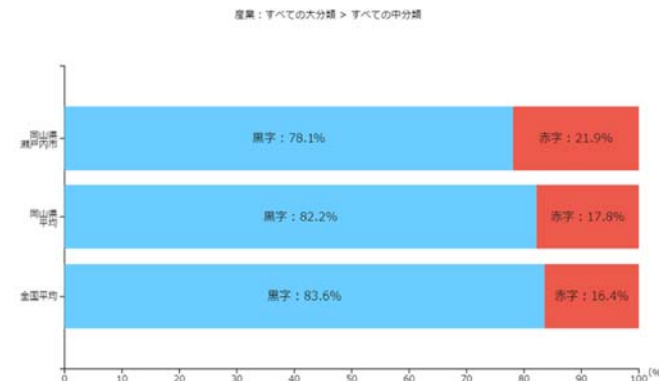
ただし、産業全体では製造業への雇用・売上・付加価値比率が高く、他の産業の成長は限定的な状況です。その結果として、地域経済循環率は86.5%と地域外に資金が流出している状況にあります。



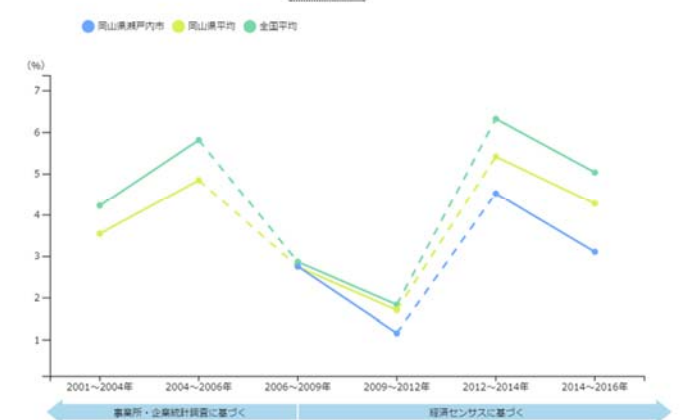
【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

瀬戸内市内の企業の経営状況を概観すると、黒字企業の割合が全国平均・岡山県平均を下回っており、創業比率も同様です。地域循環率の状況も踏まえると、地域密着型の中小・小規模企業の発展・育成に向けた取り組みの充実の必要性が浮き彫りになっています。

黒字赤字企業比率 2016年



創業比率



左図【出典】総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

右図【出典】総務省「事業所・企業統計調査」、総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

